

Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

『東北文学』 解説・総目次・索引

不二出版

第一卷第一号〈創刊号〉 一九四六(昭和二一)年一月一日

凌霄花

朝のかげ

墓地のあたり

宇十郎の失踪

画家

編輯後記

(*カット)

伊藤永之介 34

壺井 栄 46

石坂洋次郎 56

榊山 潤 69

上田 進 80

日比野士朗／久板栄二郎 96

関野準一郎／中川一政

中川 一政 表紙扉

武者小路実篤 2

船山 信一 7

結城哀草果 17

尾山篤二郎 18

阿刀田令造 21

尾山篤二郎 20

阿刀田令造 24

表紙絵

中川 一政

文芸に於けるデモクラシー(東北文芸協会第一

回例会の講演速記補訂原稿による)

土居 光知 2

青野 季吉 8

平井弥太郎 14

小宮 豊隆 16

船山 信一 21

三木清氏の思想と運命

名懸町の三浦屋——未見の詩人についての覚え書

32

33

第一卷第一号〈創刊号〉

一九四六(昭和二一)年一月一日

(*画)

新たな発足

東北的性格

新人の投稿を求む

短歌 小国峠

随筆

枯骨再起

書難随筆

文壇録音

話題の人々——文壇の行方／疎開した人々／

長野文壇／働いた人々／農村と工場／逝きし

人々

詩 帰郷

文化掲示板

「東北文芸協会」生る／「岩手タイムス」創

刊／東北移動文化聯盟誕生近し／新日本文学

者会／日本演劇協会／住所録

神保光太郎 30

X Y Z 25

29

31

32

33

文壇録音
村上 辰雄 28 ~ 33

編輯室から
村上辰雄 / 日比野士朗 / 宮崎泰二郎 96
飾絵
小穴隆一 / 野間仁根 / 中村善策

新文学団体の展望——文報の遺産 / 日本文芸
家協会 / 同心会と新日本建設文化聯盟 / 出版
インフレと鎌倉文庫 / 文学者の立候補

第一巻第三・四号 一九四六(昭和二一)年四月一日

自由民権時代の文芸
X・Y・Z 34 ~ 38
大池 唯雄 39 ~ 44

表紙絵
小穴 隆一

新文学の模索 (鼎談)

表紙裏
東北文学編輯部

舟橋聖一 / 桑原武夫 / 日比野士朗 45 ~ 64
新人の寄稿を求む
東北文学編輯室 64

文壇

小説
花樟 (「花樟物語」第一章より) 真杉 静枝 2 ~ 19
戦災 寺崎 浩 20 ~ 32

(* 書簡・岩倉政治) / 蘭郁二郎氏のこと
(小野正人) 65

潤滑油——ある疎開者の話 菊田 義孝 33 ~ 46
詩 崖 玉城 徹 32

文化揭示板

東京の友へ——仙台からの通信 船山 信一 47 ~ 50

東北文芸協会の性格と近況 / 住所録 / 『早蕨』
創刊近し

文芸時評 敗戦と作家 日比野士朗 51 ~ 62
芸術座の思ひ出 長田 秀雄 63 ~ 74
Zからの手紙——野坂参三氏に宛てて

小説 花札 室生 犀星 68 ~ 71
俳句 山水抄 飯田 蛇笏 72

文壇録音
出版界の肅正——総選挙また延びる / 稿料イ
山岸 外史 75 ~ 88

短歌 大歳 結城 健三 73
小説 終戦前後 日比野士朗 74 ~ 95

ンフレ／新田異変／出版肅正裁判

X・Y・Z 89～93

文化掲示板

涌谷文化協会（志摩徳太郎）／岩沼文化協会

（高橋易）／米沢青年文化聯盟／住所録 94～95

編輯後記 村上辰雄／日比野士朗／宮崎泰二郎 96

飾絵 曾宮一念／中村善策／鈴木信太郎

第一卷第五号 一九四六（昭和二一）年五月一日

（*表紙絵） 小穴 隆一

カフェ『スターリンググランド』（ソ聯文学）

コンスタンチン・シーモノフ、黒田辰男訳 1～7

文芸とヒューマニズム 岡崎 義恵 8～15

詩

夜三章 菱山 修三 16～17

暁春——竜三にそして世の多くの復員者の方々

へ 高橋たか子 47

第一次世界大戦後の…

フランス文学 桑原 武夫 18～28

フランス演劇

文芸時評 素人と玄人のこと 有永 弘人 29～36

文壇録音

左翼作家の動向——正誤について／アーニー・

パイル劇場／文藝春秋社の解散／新聞問題も

ある／左翼作家の動向 X・Y・Z 41～46

短歌

おもひで——私の舞ひの師匠に 石野 みち 46

啓蟄抄 吉井 勇 93

『文藝春秋』創刊の頃 鈴木彦次郎 48～53

俳句 花にいこひて 阿部みどり女 53

文化掲示板

東北での新刊雑誌／東北科学文化クラブ／国

鉄文芸協会／各地のニュースを待ちます（係）

文匣 『東北文学』編輯の方々にお願ひ

相馬 黒光 55

特輯 一、我が文学を語る／二、我が関心を寄

せる作家（潤一郎、瑛、直哉、荷風、の中よ

り）

私小説作家として 石塚 友二 56～57

百姓生活に芽ぐもの

上泉 秀信 57 ~ 59

聖書の文芸性

朝下 桂宇 16 ~ 23

小説

詩 靴——即物詩篇

笹沢 美明 24

駅の一夜

佐藤 民宝 60 ~ 75

「日本共産党」と文学

徳永 直 25 ~ 32

潮騒

佐藤 善一 76 ~ 92

二人の花形——島木健作と武田麟太郎

日比野士朗 33 ~ 40

鳥瞰席MOQ

94

軽音楽述義

石坂洋次郎 41 ~ 46

投稿原稿について

『東北文学』編輯室

95

文化掲示板

編輯室から 村上辰雄／菅野吉雄／宮崎泰二郎

96

新日本文学会青森支部結成／「東北詩の会」

装美 小穴隆一／木村莊八／根本雅夫

誕生／「河北美術展」開催さる／『早蕨』第一号発売／村岡典嗣氏逝去／武内義雄氏仙台を去らる／東北学生新聞発行近し／「郷人社」の結成

47

第一巻第六・七号 一九四六(昭和二一)年七月一日

(＊表紙絵)

杉村 惇

特輯 一、我が文学を語る／二、我が関心の作家(潤一郎、惇、直哉、荷風、の中より)

47

起て罪はもうない——日本人達のために歌へ

る(編輯部訳並びに註)

アレン・エリクソン 表紙裏

短歌

人間則文学

上林 暁 48 ~ 49

花影

佐藤佐太郎 1

人民とともに

大池 唯雄 49 ~ 53

山独活

巽 聖歌 40

田舎に住んで

伊藤永之介 53 ~ 54

随筆 蕨

土井 八枝 2 ~ 4

文壇録音 終戦後の文学——文士代議士／出版界もめる

宮沢賢治論

渡辺 敏雄 5 ~ 15

／「青文」の解散／昏迷する作家群

小説 X・Y・Z 55～59

静臥記

一家

鳥瞰席 吉野博士と河上博士

編輯後記

装美

第一巻第八号

一九四六(昭和二一)年八月一日

表紙絵

詩 この日

新しい世代の進路

新人の寄稿を求む

詩 月見草刈り——疎開地の思出

発表

新進の無力が寂しい

翻訳文学に就いて

現代世界文学展望

現代のソヴェート文学

俳句 獄の四季

「巡礼」から「東方の門」へ

特輯(終回) 一、我が文学を語る

関心を寄せる作家(潤一郎、瑛、直哉、荷風の
中より)

二つの問題

我が文学を語る

仙台の友へ——鎌倉日より

新劇協会と大仏開眼の脱稿

文壇録音

文学者の戦争責任——作家生活の向上／出版

B級の判定／文学者の戦争責任／公職追放の

限界

文化掲示板

東北文芸協会五月例会／東北科学文化クラブ

講演会／仙台小劇場公演／各地の文化活動の

一端／民主主義科学者協会東北支部／二高の

文化祭／「東北詩の会」主催講演会／住所録

追加

小説

東 京三 36

村田 治夫 37～42

上田 進 43～46

日比野士朗 46～49

久板栄二郎 50～52

長田 秀雄 53～61

X・Y・Z 62～66

岩上 順一 1～9

上野 菊江 表紙裏

福田豊四郎

東北文学編輯部 9

北川 冬彦 10～11

編輯部 10～11

上司 小剣 12～17

平岡 昇 18～21

黒田 辰男 22～36

嵐のあと

福田 清人 68 ~ 85

変転

森 三千代 86 ~ 96

編輯室から

村上辰雄 / 宮崎泰二郎 裏表紙裏

表紙・カット

福田豊四郎 / 中村善策

第一卷第九号

一九四六(昭和二一)年九月一日

詩

夏菊——こんなたそがれ一生をきめる人もあ

りはしないだらうか

竹内てるよ 1

断想

船山 信一 2 ~ 5

奴隷の告白——日本文学精神の烙印

長 光太 6 ~ 12

日本文学について

木村 亀二 13 ~ 16

俳句 田

山口 誓子 16

歴史文学私見——大池唯雄君へ

新明 正道 17 ~ 22

鳥瞰席 短歌について / 児童文学について

H · S 23

現代の俳句

一力 五郎 24 ~ 29

世界文学

芸術家の誇り / 政治と詩人

石川 湧 30 ~ 33

筑波根詩人 横瀬夜雨の生涯

木村 信吉 34 ~ 40

文壇録音

文学賞の行方——敗戦一年 / 多彩な文学賞 / 芥川賞の場合 / ピュリッツア賞その他

X · Y · Z 41 ~ 45

第一次文芸家協会史

竹越 和夫 46 ~ 51

小説

栄雅堂

東野辺 薫 52 ~ 62

コンパクト(二〇〇枚)

川村 公人 63 ~ 95

文化掲示板

その後の刊行誌調査 / 「夏期芸術講座」開催

宮崎泰二郎 96

編輯室だより

カット 太田三郎 / 鳥海青児 / 小穴隆一

第一卷第一〇号 一九四六(昭和二一)年一〇月一日

道、空、冬(*詩)

佐藤 英哉 表紙裏

芸術に於ける宗教性

石津 照璽 2 ~ 12

現代短歌論

五味 保義 13 ~ 19

耕すものの文芸——地方文化運動現地報告

安斎桜碗子 20 ~ 22

太宰治を素描する——作家と読者 草野 正辰 23 ~ 26

俳句 雨季 梶 大輔 27

世界文学手帖

著作家の任務 石川 湧 28 ~ 29

我が外国文学への道 森田 草平 30 ~ 35

新人の寄稿を求む 東北文学編集部 35

第一次文芸家協会史(第二回) 竹越 和夫 36 ~ 42

文壇録音

文芸評論の衰弱——文協委員会の発足／夏目

家騒動／文芸評論の衰弱／武者氏追放さる／

日本著作家組合 X・Y・Z 43 ~ 47

小説

丘の開墾地 鶴田 知也 48 ~ 58

「日本人」 岩倉 政治 59 ~ 71

復員者を待つ人々(新しき耕土) 上泉 秀信 72 ~ 96

掲示板 陸前歌話会結成

編輯室だより 宮 崎 96

表紙・カット 鳥海青児／小穴隆一

第一巻第一二号 一九四六(昭和二一)年二月一日

表紙絵 恩地孝四郎

文学と政治 岡 益夫 1 ~ 8

カトリシズムと文学 大塚 幸男 9 ~ 17

随筆 猿芝居 中山 義秀 18 ~ 24

詩 長 光太 25

クライ月カゲニメザメ 風向NW——高山実験所スケッチ 綾瀬しげる 26

夕暮 上野 菊江 38

揺籃と懐郷——横光利一のこと 高橋 新二 27 ~ 33

世界文学手帖 石川 湧 34 ~ 38

ウエルズ死す／局外者シヨウ

文壇録音

著作家組合の方向——創立総会延びる／組合

員の多様性／恥じ多き文章／新人振はず

第一次文芸家協会史(第三回) 竹越 和夫 44 ~ 48

X・Y・Z 39 ~ 43

小説

たづねびと

太宰 治 49 ~ 56

沼のほとり

渡辺 敏雄 57 ~ 76

曠野

船山 馨 77 ~ 95

掲示板

東北文芸協会 / 「夕刊とうほく」創刊 / 文化

友の会

96

編輯室だより

宮崎泰二郎 96

カット

杉村 惇

第一巻第一二号

一九四六(昭和二一)年二月一日

表紙絵

原 精一

鷗外の小説観

岡崎 義恵 1 ~ 11

鷗外の『キタ・セクスアリス』

永野 為武 12 ~ 20

歌 初冬

伊達 宗雄 20

詩 ひかり

平井弥太郎 21

漱石文庫とその環境——東北帝大図書館の一隅

から

高木武之介 22 ~ 26

世界文学手帖

文学者の記念に

石川 湧 27 ~ 30

書評

「細雪」(上巻)を読んで

高橋 幸一 31 ~ 33

「縮図」について

山沢 種樹 33 ~ 36

文壇録音

一九四六年総勘定——全集もの氾濫す / 出版

社の検印 / 漱石賞と啄木賞

X・Y・Z 37 ~ 41

小説

骸骨と少女

小池 忠雄 42 ~ 57

寒夜

大淵忠之助 58 ~ 77

怪談

榊山 潤 78 ~ 95

掲示板

東北文芸協会行事 / 日本文学協会仙台支部

宮崎泰二郎 96

編輯室から

原 精一 96

カット

第二巻第一号

一九四七(昭和二二)年一月一日

表紙絵

創造的想像力

鳥海 青児

村田 潔 2 ~ 11

小説の害毒について

舟橋 聖一 12 ~ 19

出版局よせがき抄

原稿募集

東北文学編輯部 19

三原良吉 / 村上辰雄 / 桜井平喜 / 服部博 / 門

詩

鶴部

丸山 薫 20 ~ 21

岡桂子 / 渡辺康三 / 菅野吉雄 / 保原逸鶴 / 斎

青春

高橋たか子 22 ~ 23

藤キヌ / 松原慶治 / 高橋利男 / 佐藤しづ子 /

世界文学手帖

石川 湧 24 ~ 27

誌上をかりて

村上 辰雄 124

諷刺文学のこと

石川 湧 24 ~ 27

あとがき

宮崎泰二郎 124

書評

「お伽草紙」と「パンドラの匣」 増田 四郎 28 ~ 30

カット 鳥海 青児 124

「来訪者」と「間はずがたり」 山沢 種樹 30 ~ 33

第二巻第二号 (三月号) 一九四七 (昭和二二) 年二月一日

自伝的文壇五十年 (一) 中村武羅夫 34 ~ 44

表紙絵 野村 千春 2 ~ 9

文壇録音

新憲法と文学——民主憲法公布 / 人間論の反

現代詩論 木下常太郎 2 ~ 9

措定 / 著組創立さる / 米国の読書クラブ / 編

詩 しゃぼん玉 渡辺 花子 9

輯者の識見 X・Y・Z 45 ~ 51

砂丘 加藤 千晴 48 ~ 49

小説 相原とく子 52 ~ 70

東西詩感の連想 白鳥 省吾 10 ~ 16

絆 左門治と千代 (「花樟物語」第二章より)

日本の詩について (鼎談)

真杉 静枝 71 ~ 93

桑原武夫 / 丸山薫 / 日比野士朗 17 ~ 31

年の瀬 日比野士朗 94 ~ 122

国語国字問題——今次の漢字制限、新仮名遣法

の制定以前に得たる諸家の回答(アンケート)

土居光知／相馬黒光／菊沢季生／中野五郎 32～37

世界文学手帖

文化と政治家 石川 湧 38～41

歌 冬日 田川 竹夫 41

書評

堀辰雄「花あしび」 沖塩 徹也 42～43

清水基吉「雁立」 対馬 正 43～46

「河童」の定本 山沢 種樹 46～47

原稿募集 東北文学編輯部 47

文壇録音

国文学の場所——軍閥協働者／国文学部会／

日本文学協会／古典懇話会／急進か、反動か？

X・Y・Z 50～55

小林秀雄論 宮崎 芳三 56～63

自伝的文壇五十年(二) 中村武羅夫 64～74

小説

仲秋(戯曲・三場) 伊藤 緑郎 75～90

菊 儀府 成一 91～109

楡の木の下 秋山 恵三 110～127

あとがき

カット 宮崎泰二郎 128

第二巻第四号 一九四七(昭和二二)年四月一日

表紙絵 吉井 忠

小説

野辺送り 伊藤永之介 2～15

鬼神のお松 沙和 宋一 16～34

トランプ譚 落合 茂 35～54

断雲 佐藤 善一 55～91

詩 笛 本郷清市郎 92

芭蕉について 桑原 武夫 93～105

世界文学手帖

翻訳について 石川 湧 106～109

文壇録音

国字問題と文学——漢字制限と新仮名遣／文

学は変わるか？／作者と読者の関係／新しき

表現 和井 幘 110～116

自伝的文壇五十年(三) 中村武羅夫 117～127

あとがき
宮崎泰二郎 128
カッタ
吉井 忠

第二巻第五号 一九四七(昭和二二)年五月一日

表紙絵 新海 覚雄

小説 新海 覚雄
個性と真実
わがゆく道
それから
考えていること

洪谷道玄坂 壺井 栄 2 ~ 28

寺町附近 川村 公人 29 ~ 63

歌 灰皿 扇畑 忠雄 63

霧とユーモア 土居 光知 64 ~ 69

文学の諷刺性 板垣 直子 70 ~ 81

詩 見えない富士 山田岩三郎 82

世界文学手帖 山田岩三郎 82

ニューズの余白に 石川 湧 83 ~ 86

心境と抱負(東北在住作家アンケート)

文学以前のこと 相原とく子 88

僕の部屋 秋山 恵三 89

私の方向 石坂洋次郎 90

一つの心境 伊藤永之介 91

ねがひ 上野 菊江 92
永遠の途上に 大滝 重直 93

作家的心境と抱負 川村 公人 94

私の本願 上泉 秀信 95

寸感 儀府 成一 96

個性と真実 公家 裕 97

わがゆく道 小池 忠雄 98

それから 佐藤 善一 99

考えていること 沙和 宋一 100

文学の実験 庄司 総一 101

再発足 鈴木彦次郎 102

新しい発足へ 高橋たか子 103

答へ 東野辺 薫 104

一日また一日 日比野士朗 105

風信 平井弥太郎 106

失った青春 森 莊巳池 107

文壇録音

可能性の文学——織田作之助の場合／可能性

の文学／その駁論——岩上順一／私小説と本格

小説 和井 楨 108 ~ 113

書評

「世相」について

十返 肇 114

自伝的文壇五十年(四)

中村武羅夫 116

東北在住作家住所録

宮崎泰二郎 127

あとがき

新海 覚雄 128

カット

新海 覚雄

第二巻第六号 一九四七(昭和二二)年六月一日

表紙絵

千葉 明

小説 尽記

清水 基吉 1

老舎と魯迅

小川 環樹 27

詩 時間

上野 菊江 34

文壇録音

小説のジャンル——私小説是非／自然主義以後／随筆と心境小説

和井 幘 35

読者諸賢へ

東北文学編集部 38

自伝的文壇五十年(五)

中村武羅夫 39

心境と抱負(東北在住作家アンケート)

39

書きたくないこと

榊山 潤 47

一生詩を書き通す

丸山 薫 47

あとがき

宮崎泰二郎 48

カット

狭間 二郎

第二巻第七号 一九四七(昭和二二)年七月一日

表紙絵

野口弥太郎

小説 村の愛欲

田中 英光 1

詩 海の唇

平井弥太郎 29

文壇録音

三つの主題——カミについて

和井 幘 30

田園詩篇(遺稿抄)

上田 進 32

豆教室

36

研究 「説話」といふ形式について——豊島与志雄の作品

志雄の作品

山沢 種樹 37

自伝的文壇五十年(終回)

中村武羅夫 39

書評

花田清輝「復興期の精神」

田中 勉 47

あとがき

宮崎泰二郎 48

カット

野口弥太郎／吉岡憲

第二卷第八号 一九四七(昭和二二)年八月一日

表絵	千葉 明	
小説		
風蝕	矢野 朗	1 ~ 30
余話	小池 忠雄	32 ~ 43
詩 一年	大木 実	31
文壇録音		
著作権と編輯権——著作権侵害／「花妖」の場合／編輯権の確立	和井 幀	44 ~ 45
葛西善蔵	日比野士朗	46 ~ 57
れえだあす・せくしよん	須多 章	58
外国文芸の研究	岡崎 義恵	59 ~ 60
「戦争と平和」断章	榎谷 雄	61 ~ 63
豆教室		64
編輯後記	宮崎泰二郎	64
カット	野口弥太郎／吉岡憲	

第二卷第九号 一九四七(昭和二二)年九月一日

表絵	菅野 康	
小説 離合	小山 清	2 ~ 35
詩 まんじゆしやげ	小名木 滋	36
『ファウスト』とツルゲーニエフ	柴田治三郎	37 ~ 42
わらのことば	高橋 正雄	43 ~ 45
思想についての疑問	刈田 浩平	45 ~ 48
文壇録音		
異端の文学——まへがき／三人の系譜／異端の文学／文壇の主流	和井 幀	49 ~ 52
研究 啄木の位置	岩上 順一	53 ~ 57
俳句 秋	鈴木 新火	57
れえだあす・せくしよん	須多 章	58 ~ 59
自伝的文学記録第一章 林檎の花の咲く頃まで	秋田 雨雀	60 ~ 63
豆教室		64
編集後記	服部博／宮崎泰二郎	64
カット	野村 千晴	

第二巻第一〇号 一九四七(昭和二二)年一〇月一日

編集後記

服部博／宮崎泰二郎

64

カット

吉井 忠

表絵 原 精一

第二巻第一一号 一九四七(昭和二二)年一月一日

小説

田舎の勝利 深田 久弥 2 〵 9

シカリコタンの熊 寒川光太郎 10 〵 25

東北の女 耕 治人 26 〵 44

豆教室 44

れえだあす・せくしよん

太宰治『斜陽』(須多章)／高村光太郎『暗

愚小伝』(竜) 44

短歌 山寂々 吉井 勇 45

エレミヤ記について 朝下 桂宇 46 〵 53

真山青果論 大山 功 54 〵 57

自伝的文学記録第二章 弘前―小軍都―先覚者

の夢 秋田 雨雀 58 〵 60

文壇録音

文学の大衆化―露伴追悼／文学の大衆化／

「浜辺の歌」 和井 慎 61 〵 64

表絵 莊司 ふく

小説 田中 英光 2 〵 26

東京怪談 宮内 寒弥 27 〵 38

「理想の女性」への回答 宮内 寒弥 27 〵 38

20代の若い人々による小説作品を公募します

東北文学編集部 38

詩 庭 草野 心平 10 〵 11

陸 丸山 薫 60 〵 61

新しい美―生活の一貫性について 小田切秀雄 39 〵 42

鷗外雑感 唐木 順三 43 〵 49

グルノーブル・仙台―スタンダールの未発表

原稿について 井上 勇 50 〵 52

れいだあす・せくしよん 須多 章 53

文壇録音

新人について

和井 幀 54
57

自伝的文学記録第二章

鉄道馬車―日露戦争え

秋田 雨雀 58
63

編集後記

宮崎泰二郎 64

カット

吉井忠／原精一

第二巻第一二号

一九四七(昭和二三)年二月一日

表絵

宍戸 章

文化主義の克服

船山 信一 2
8

文壇録音

ポレミイク一九四七年——中野対荒・平野／
小林多喜二の場合／インテリゲンチヤの道

和井 幀 9
13

短歌 悲音

佐藤佐太郎 13

研究 長塚節の「土」について

北住 敏夫 14
19

自伝的文学記録第四章 若き抱月、若き藤村、
若き薫

秋田 雨雀 20
25

小説

物思ふ亀

原 奎一郎 26
43

木橋

渡辺 敏雄 44
52

別離

尾崎 士郎 53
64

編集後記

宮崎泰二郎 64

カット

狭間二郎／吉井忠

第三巻第一号

一九四八(昭和二三)年一月一日

表紙絵

内田 巖

小説 白い頁

川村 公人 2
28

文学の肩書き

竹村 猛 29
33

座談のスクラップ 今日の文学

井伏鱒二／舟橋聖一／丹羽文雄／河上徹太郎

／日比野士朗 34
41

文壇録音

文学的創造の主体——新文学の母胎／新日本

文学会の進路／主体と現実 山沢 種樹 42
45

自伝的文学記録第五章 演劇の「嵐」の時代

(逍遙、抱月、薫、須磨子、正二郎)

秋田 雨雀 46
50

ミクロメガス——地球訪問記(ヴォルテール)

石川 湧 51

編集手帳 宮崎泰二郎 64

カット 内田巖/吉井忠

第三卷第二号 一九四八(昭和二三)年二月一日

表紙構成 赤松 俊子

小説

白い頁(連載第二回) 川村 公人 2

少年の悲哀の愚かさよ! 米川 正夫 30

御知らせ 東北文学編集部 44

文部大臣賞その他 徳永 直 45

横光利一のこと K H K 48

懐疑と愛着——書翰に見る若き日のプーシキン 蕨山 順 49

文壇録音 53

女流文学の展望——女流文学者会/平林たい

子の近作/宮本百合子の場合/関秀作家小論

山沢 種樹 54

日本ペン・クラブ東北支部の活動 58

自伝的文学記録第六章 ワシリー・エロシエ

ンコ——『十月の嵐』え 秋田 雨雀 59

編集手帳 宮崎泰二郎 64

カット 内田巖/吉井忠

第三卷第三号 一九四八(昭和二三)年三月一日

表紙絵 小穴 隆一

小説 白い頁(連載第三回) 川村 公人 2

戯曲 めでたい座敷(喜劇一幕) 久板栄二郎 22

短篇小説 嫁 芝木 好子 37

芸術理論の継承と発展(一) 岩上 順一 46

詩 死の影のもとに 上野 菊江 52

文壇録音 53

新感覚派の終焉——星一つ殞つ/新感覚派/

知性と感性/旅愁と夜の靴 山沢 種樹 54

自伝的文学記録第七章 「デモクラシイ」時代

秋田 雨雀 59

編集手帳 宮崎泰二郎 64

カッタ 小穴隆一／吉井忠／阿部松寿

第三卷第四号 一九四八(昭和二三)年四月一日

表紙絵 夢の海 長谷川春子

小説

幻影 榊山 潤 2 頁 13 頁

金蠅 松田 解子 14 頁 29 頁

ソレル見習(廿代の作品公募に入選したその一篇) 三倉 四郎 30 頁 47 頁

二十代の人々による応募作品の選後報告

東北文学編集部 13

文芸時評

戦後勤労者文学の課題——徳永直の見解に対する批判をこめて

小原 元 48 頁 52 頁

詩 断層 渡辺 花子 52 頁

架空会見記 丹羽文雄の巻 M・J・B 53 頁

文壇録音

回想の文壇グループ——文藝春秋と不同調／

新興芸術派／文学界と行動／「あらくれ」と

博浪沙 山沢 種樹 54 頁 58 頁

自伝的文学記録第八章 大震火災前後——民族的試煉の時 秋田 雨雀 59 頁 64 頁

編集手帖 宮崎泰二郎 64 頁

カッタ 狭間 二郎

第三卷第五号 一九四八(昭和二三)年五月一日

表紙絵 木村 莊八

リアリズム理論の展開 岩上 順一 2 頁 9 頁

詩 海の愛情 白鳥 省吾 10 頁 11 頁

小説

中年 日比野士朗 12 頁 35 頁

花槽 東野辺 薫 36 頁 47 頁

架空会見記 太宰治の巻 M・J・B 48 頁 49 頁

文壇録音

新人の系譜——絶望と虚無／悪の要素／視覚と触覚／意識の流れ

山沢 種樹 50 頁 54 頁

熱海の志賀さん 栗田 桂子 55 頁 56 頁

文芸「二十の扉」 S・K 56 頁 58 頁

自伝的文学記録第九章 フェビヤン時代——安

部磯雄・山本宣治・土方与志のおもいで

秋田 雨雀 59 ~ 63

二十代の人々による応募作品の入選作と佳作に

ついて

東北文学編集部 64

編集手帖

宮崎泰二郎 64

カット

狭間二郎／吉井忠

第三卷第六号 一九四八(昭和二三)年六月一日

表紙絵

杉村 惇

詩 劳作／坂

丸山 薫 2 ~ 3

詩精神の衰弱と復興

こいけ・ただお 4 ~ 10

「詩の革命」の条件——定形詩論をめぐるつて

長 光太 11 ~ 16

農民小説を募集します

東北文学編集部 16

批評家の日記——前代文士の貧困について

青野 季吉 17 ~ 22

小説

黄いろな日

沙和 宋一 23 ~ 35

疲労の果て(二十代の応募入選作の二)

楠美 徹二 36 ~ 50

すくらっぶ

35 ~ 55

俳句 日蝕三句／目黒末吉にて

石塚 友二 50

文壇録音

小説の面白さと面白い小説——小説と読物／

百万人の文学／大衆小説の動向／グレシヤム

の法則

山沢 種樹 51 ~ 55

架空会見記 梅崎春生の巻

M・J・B 56 ~ 57

自伝的文学記録第十章 ソヴェート時代(其一)

真山青果さんのこと

秋田 雨雀 58 ~ 64

御案内

楠方 吾郎 60 ~ 61

編集手帖

東北文学編集部 64

カット

宮崎泰二郎 64

カット

杉村惇／吉井忠

第三卷第七号 一九四八(昭和二三)年七月一日

表紙絵

杉村 惇

太宰治氏の急逝を衷心より悼む

映画と文学との交流——主として心理の問題に

ついて

今日の文芸雑誌と編輯者

当代作家の印象

「辻馬車」時代と私

文壇録音

新聞小説の偏向

架空会見室 舟橋聖一の巻

すくらっぶ

自伝的文学記録第十一章 ソヴェート時代(其

二)

「鼻」について——ゴッゴリと芥川龍之介

鷗外の戯曲

短篇小説

あいさつ

振老山

編集手帖

カット

岩崎 昶 4 〱 9

中村武羅夫 10 〱 13

日比野士朗 14 〱 19

崎山 正毅 20 〱 24

山沢 種樹 25 〱 29

M・J・B 30 〱 31

31・47

秋田 雨雀 32 〱 37

蕨山 順 38 〱 42

大山 功 43 〱 47

川村 公人 48 〱 54

耕 治人 55 〱 64

宮崎泰二郎 64

杉村 惇

第三卷第八号 一九四八(昭和二三)年八月一日

表紙絵

目次絵

特集 追想の太宰治

太宰治先生に

「惜別」のころ

終戦直後の金木町にて

仙台・三鷹・葬儀

友! 太宰

アヴァン・ギャルドの宿命

小説 三鷹綺譚

架空会見室 船山馨の巻

満員電車

詩 暗い火

自伝的文学記録第十二章 国際文化時代

短篇 町

編集手帖

杉村 惇

阿部 合成

田中 英光 3 〱 5

吉邨 堯 5 〱 8

村上 辰雄 8 〱 12

戸石 泰一 12 〱 18

阿部 合成 18 〱 19

山沢 種樹 19 〱 23

小山 清 24 〱 45

M・J・B 46 〱 47

広 告 48

菱山 修三 49

秋田 雨雀 50 〱 54

小池富美子 55 〱 64

宮崎泰二郎 64

杉村 惇

カット

吉井忠／杉村惇

第三卷第九号 一九四八(昭和二三)年九月一日

表紙絵

杉村 惇

文学の三方向——太宰治の文学を中心において

山岸 外史 2 3 7

文壇録音

小説の読者

山沢 種樹 8 3 12

他生の縁(農民小説・新人作品)

石川 冬子 13 3 26

詩 古代青銅

真壁 仁 25

スタンダールの「赤と黒」について(小説作法

の鍵)

青柳 瑞穂 27 3 32

架空会見室 椎名麟三の巻

M・J・B 32 3 33

自伝的文学記録第十三章 文化闘争と逆流時代

秋田 雨雀 34 3 38

小説

白状します

田中 英光 39 3 50

エンゼル小僧

秋山 恵三 51 3 64

編集手帖

宮崎泰二郎 64

カット

杉村惇／吉井忠

第三卷第一〇号 一九四八(昭和二三)年一〇月一日

表紙絵

杉村 惇

ダブレ・ゲールの文学

今 日出海 2 3 5

文壇録音

戦後の戯曲文学

山沢 種樹 6 3 10

短歌 海辺にての短唱

斎藤 正二 10

ジャーナリストによる・一九四八年八月十五日

の記

ロマンの記念日

坂本 六良 11 3 15

安全体の殻から

品川弥千江 15 3 19

未了の過去

工藤 幸一 19 3 23

家

藤 未次 23 3 28

山河

下斗米康平 28 3 33

平和の鐘由来記

中塚富之助 33 3 37

詩 望郷——復員ノートより

高橋たか子 38 3 39

架空会見室 田村泰次郎の巻

M・J・B 40 3 41

坂口安吾と大岡昇平

中島 健蔵 42 3 44

自伝的文学記録終章 ファッション時代

秋田 雨雀 45 ~ 50

稲の訴願 (農民文学・新人作品・第二回発表)

千葉 治平 51 ~ 64

編集後記

宮崎泰二郎 64

カット

杉村惇 / 吉井忠

第三巻第一二号 一九四八(昭和二三)年二月一日

文壇録音

喜劇について

山沢 種樹 38 ~ 42

農民劇脚本 節分の客

上泉 秀信 44 ~ 63

編集後記

宮崎泰二郎 64

カット

杉村惇 / 吉井忠

第三巻第一二号 一九四八(昭和二三)年二月一日

表紙絵

杉村 惇

表紙絵

杉村 惇

小説

わが師への書

小山 清 2 ~ 13

妻の故郷

日比野士朗 14 ~ 27

「東北作家協会」について

27

詩

蛇

渋谷 晴雄 13

闇

小池 吉昌 43

架空会見室 志賀直哉の巻

M・J・B 28 ~ 29

作家研究 D・H・ロレンスの世界

宮崎 芳三 30 ~ 37

目次絵

原 精一

仙台に於ける英詩人ブランデン氏——その人と

英文学講議について

小林 淳男 2 ~ 6

アンケート 私の好きな自作品 / 私の好きな作家

井上友一郎 / 橋本英吉 / 平林たい子 / 石坂洋

次郎 / 野間宏 / 寺崎浩 / 石川達三 / 北条誠 /

田中英光 / 網野菊 / 三島由紀夫 / 芝木好子 /

榊山潤 / 伊藤永之介 / 船山馨 / 藤沢桓夫 / 沙

和末一

6・13・32・48

現実からの遁走——椎名・船山・野間の文学

徳永 直 7 ~ 13

今年の雑誌界回顧

木下常太郎 14 ~ 19

詩 アジアの湖

真壁 仁 24 ~ 25

文壇録音

編集者は現代日本文学をいかに見ているか

長編小説——1948年 山沢 種樹 20 ~ 24・29

作家・編集者・ジャーナリズム 矢野 朗 26 ~ 28

さよなら！ 桑原さん——桑原武夫氏西へ行く

編集者から見た今日の日本文学 杉森 久英 28 ~ 31

有永 弘人 25 ~ 29

もみ手をする日本文学 野田宇太郎 31 ~ 33

上野 菊江 30 ~ 31

東北作家協会について 文壇録音 33

M・J・B 32 ~ 33

文学・政治・実践 山沢 種樹 34 ~ 38

川村 公人 34 ~ 47

楠本 憲吉 38

木村不二男 49 ~ 57

わが昭和文壇史——新潮編集二十年の記(一) 榎崎 勤 39 ~ 48

小田 嶽夫 58 ~ 64

宮崎泰二郎 64

東北在住作家名鑑 連載小説 砦の蔭にて(第一回) 沙和 宋一 50 ~ 64

吉井忠/狭間二郎 64

カット

カット 吉井 忠

第四卷第一号 一九四九(昭和二四)年一月一日

第四卷第二号 一九四九(昭和二四)年二月一日

表紙絵

杉村 惇

表紙絵

中島 哲郎

短篇 きつね火

伊藤永之介 2 ~ 18

東北在住作家小説特集号

文芸放談

深田 久弥 19 ~ 23

意志を持つ風景

榛葉 英治 2 ~ 14

水害余聞

伊藤 緑郎 15
26

黒孺子の襟

東野辺 薫 27
36

養老園

浜田 隼雄 37
52

闇の勝利

庄司 総一 53
64

後記

宮崎泰二郎 64

カット

原精一／吉井忠

第四卷第三号

一九四九（昭和二四）年三月一日

随筆

稲村ヶ崎

真杉 静枝 46
48

恥多き記憶

榊山 潤 48
50

出発はこれから

徳田 一穂 50
53

歴史と空想

西村 貞二 53
56

文体模写

哈哈大笑——フィクション

小松 清 58
61

日本ペン・クラブの途

芥川賞復活

透谷と蒙軒学舎——透谷の綽名について

勝本清一郎 62
68

表紙絵

中島 哲郎

小説

砦の蔭にて（第二回）

沙和 宋一 2
16

火あそび

森 三千代 17
24

光ある絵

今野 望 25
35

千代の歩いた道

又井 賢三 36
45

投稿案内

詩

Fragments——音楽会の眺め

石井 昌光 15

蟹

渋谷 晴雄 23

夢精卵

須藤 春樹 68

好文寸評 古川成美「死生の門」

わが昭和文壇史——新潮編集二十年の記（承前）

東北作家協会だより 東北作家協会事務局 83
95

文壇録音 レモネ・カストリーヌ 76

谷崎潤一郎人と作品 山沢 種樹 77
82

エスプリ談義 浜野 正吾 69
72

スタインベックの「真珠」 高村 勝治 73
76

編集後記

宮崎泰二郎 96

カッ

八重垣逸郎／原勇

九州の新聞小説

矢野 朗 33

36

第四卷第四・五号

一九四九(昭和二四)年五月一日

隨想

今野 望 69

表紙絵

中島 哲郎

地方人の一つの性格

伊藤永之介 38

庶民的と市民的

荒 正人 2

色彩のこと

真壁 仁 39

全国新聞小説展望

小説 砦の蔭にて(連載第三回)

沙和 宋一 40

東京の新聞小説

舟越 理助 6

文壇録音

山沢 種樹 53

北海道の新聞小説

森川 盛男 11

短編小説の粹

向山 一郎 59

東北の新聞小説

その頃の山本有三——本郷神明町時代

61

宮城の新聞小説

新人小説

大窪 梅 62

大岡利吉／銀杏不咲／河内山歳男

南部つむぎ

78

福島の新聞小説

福島 一郎 17

嵐

78

新潟の新聞小説

松瀧清作／青地進

雨

79

山形の新聞小説

雁戸 太郎 22

編集後記

96

秋田の新聞小説

能淵 敏 23

カッ

96

青森の新聞小説

横田 雄士 25

原精一／八重垣逸郎／原勇／関野準一郎

岩手の新聞小説

上林 君太 26

関西の新聞小説

京極三四夫 28

第四卷第六号 一九四九(昭和二四)年六月一日

表紙絵

バルザック的なもの

特集 東北の著名作家

石川啄木

岩野泡鳴

落合直文

葛西善蔵

小林多喜二

斎藤茂吉

志賀直哉

島崎藤村

島木健作

白鳥省吾

高山樗牛

千葉亀雄

土井晩翠

東海散士

中島 哲郎

竹村 猛 1 〱 2

朝下 桂宇 4 〱 7

村上 忠孝 7 〱 10

岡崎 義恵 10 〱 12

横沢 三郎 13 〱 15

浜田 隼雄 15 〱 19

伊達 宗雄 19 〱 22

扇畑 忠雄 22 〱 25

吉邨 堯 25 〱 28

鶴田 知也 28 〱 31

高橋たか子 31 〱 34

橋浦 兵一 34 〱 36

岡 益夫 37 〱 39

小名木 滋 39 〱 42

大池 唯雄 42 〱 45

福士幸次郎

松井松翁

真山青果

宮沢賢治

魯迅

詩 鮑の子

随想 叙事詩の復興

長編連載 砦の蔭にて (第四回)

文壇録音

平和への文学的意志

新人小説 告悔

編集後記

カット

真壁 仁 45 〱 47

大山 功 47 〱 50

川井 昌平 50 〱 53

森 莊巳池 53 〱 55

小川 環樹 56 〱 58

耕 治人 59

北川 冬彦 60

沙和 宋一 61 〱 74

山沢 種樹 75 〱 81

原 誠 82 〱 96

宮崎泰二郎 96

吉井忠／関野準一郎

第四卷第七号 一九四九(昭和二四)年七月一日

表紙絵

農民文学特集

農民文学について

農民小説

中島 哲郎

青野 季吉 2 〱 4

ある男

森山 啓 5 〱 18

カッタ

八重垣逸郎

毛皮の人

儀府 成一 19 〱 33

小農

小山内奈世 34 〱 54

農村に密着する精神——伊藤永之介その他

佐藤 民宝 62 〱 64

表紙絵

中島 哲郎

「雪代とその一家」についての箇条的感想

伊藤永之介 65 〱 70

特集 菊池寛の位置——日本文学のために彼の

農民文学の関係作家

70

文学を軽視してはならない又彼の文壇的位置を究明してこれに乗越えねばならない

伊藤永之介の近作を中心にして農民文学を語る

その作家歴

2

——作家と新聞・放送・出版関係者による座談会

小説 大樹——菊池寛のグリンプス

談会

福田 清人 3 〱 17

浜田隼雄／秋山恵三／相原とく子／北村喜

対談 作家としての菊池寛

久雄／川井昌平／工藤幸一／渡辺正三郎／

舟橋聖一／竹越和夫 18 〱 21

桜井平喜

菊池寛の功罪——文藝春秋ジャーナリズムについて

文壇録音

ユダの菊池像（秘録）

井野川 潔 22 〱 30

有りと白鳥

山沢 種樹 55 〱 61

座談会 菊池寛の横顔

本橋 錦一 31 〱 41

東北地方の刊行文芸関係誌

日比野士朗／大池唯雄／岡田益吉／川井昌平

新人原稿／読者カード

東北文学編集室

／宮崎泰二郎

連載小説 砦の蔭にて（第五回）

沙和 宋一 83 〱 96

渚で

42 〱 65

編集後記

宮崎泰二郎 96

渚で

井上 長雄 17

文壇録音

ノン・フィクション文学

山沢 種樹 66 〱 70

振動

竹森 一男 71 〱 84

文学とは……

沙和 宋一 85 〱 96

岩の蔭にて（連載第六回）

文学紀念祭 96

編集後記

宮崎泰二郎 96

カッタ

原 勇

カッタ

原 勇

第四卷第九号 一九四九（昭和二四）年九月一日

表紙絵

原 勇

一九三〇年代の世界文学の動向を探る（米・仏・英篇）

英篇

アメリカの現代小説 高村 勝治 2 〱 8

フランスの現代演劇 有永 弘人 8 〱 19

イギリスの現代小説 近藤いね子 19 〱 25

文芸雑誌の編集者諸君 井野川 潔 26 〱 31

詩

言葉 白鳥 省吾 31

わたしが恋に勝ったとき こいけ・ただお 40

座談会 戦後の作家達

宮崎芳三／渋谷晴雄／原誠／山崎義彦／小泉貴

性格の研究について 32 〱 40

文壇録音

ノエル・ヌエット、石川湧訳 41 〱 48

戦記文学の問題

山沢 種樹 49 〱 54

ノベルとロマンス

小説 ノベルとロマンス 54

スロー・スロー・クイック 宮内 寒弥 55 〱 66

のんきな夫婦 浅野 晃 67 〱 80

岩の蔭にて（連載第七回） 沙和 宋一 81 〱 96

小説以上の小説を募集します！——「私はこの

ようにして戦った」（課題） 東北文学編集室 96

後記 宮崎泰二郎 96

カッタ 八重垣逸郎

表紙絵

原 勇

短篇小説集

自殺未遂

田宮 虎彦 2頁、4頁

万引

庄司 総一 4頁、7頁

洋傘

大窪 梅 7頁、10頁

ミンドロ島誌

大岡 昇平 10頁、12頁

言葉

大池 唯雄 13頁、15頁

虫籠

山沢 種樹 15頁、18頁

薔薇射禱

原 誠 18頁、21頁

鬼籍

竹越 和夫 21頁、23頁

鴉

秋山 恵三 23頁、25頁

断層(詩)

眞壁 仁 26頁、27頁

はたらき者の嫁

伊藤永之介 27頁、31頁

短篇と長篇の区別(尾切介) / 世界最短戯曲(X)

創作月評 力作を採点する	松本 宏一	34頁、44頁
『嵯峨菊』抄	一力 五郎	44頁
出版 / 詩界(M) / 短歌(K) / 俳句(I・S)		
／音楽(伶) / 美術(G)	45頁、61頁、74頁	
中国の現代文学——「離婚」と「家」	小川 環樹	46頁、60頁
性格の研究について	ノエル・ヌエツト、石川湧訳	62頁、70頁
書評	S・O / T・N / S・A	71頁
詩 遠き日の屍のために	山田岩三郎	72頁、73頁
自画像(絵と文)	富沢有為男	72頁、73頁
文壇録音		
ルポルタージュ	山沢 種樹	75頁、81頁
「ロビンソン・クルーソー」の著者ダニエル・デフォオのこと		
砦の蔭にて(連載第八回)	沙和 宋一	82頁、96頁
編集後記	宮崎泰二郎	96頁
カット	原 勇	

風俗
文化年令

有永 弘人 32頁、33頁

12頁、21頁

31頁

第四卷第一一・一二号 一九四九(昭和二四)年二月一日

表紙絵 原 勇

戦争小説

航空基地

「台湾軍は未だ停戦せず」

創作月評 呐喊

九月号各誌掲載小説採点表

床の上

詩 至上の盃

自画像

各界寸評 詩界／美術／歌界／俳界／文体／ジャー

ナル／映画／出版

文壇録音

小説とモデル

公僕

ある日のスクラップ

痒い暦

編集後記

榊山 潤	2	13
浜田 隼雄	14	30
松本 宏一	31	37
有永 弘人	37	38
加藤 千晴	40	41
竹森 一男	40	41
山沢 種樹	44	48
早船 ちよ	49	67
徳永 直	68	79
秋山 恵三	80	100
宮崎泰二郎	100	

カット

八重垣逸郎

第五卷第一号 一九五〇(昭和二五)年一月一日

表紙絵

詩 廃墟

近代日本文芸の世界性

新春随筆

読書人の傾向について

ヴラマンクの絵

果敢なる「背徳者」

特集 辰野隆と東北放談(座談会)

辰野隆／有永弘人／竹村猛／川井昌平／N女

／宮崎泰二郎

文壇録音

ナラタージュ一九四九年——昨年文壇の回顧

旅の句帖より

内と外

寸評 詩界／美術／歌界／俳界／スタイル／ジ

立川鴻三郎

渋谷 晴雄

岡崎 義恵

吉野源三郎

木村 亀二

松尾邦之助

山沢 種樹

阿部みどり女

有永 弘人

11

21

22

30

31

30

31

9

10

ヤーナラル／トピック／出版

自画像

心境小説について

創作特集

誤解（戦争小説）

良夫賢父

乞食橋

骨のおと

創作月評 創作特集を見る

採点表（*十月号各誌掲載小説）

編集後記

（*カット）

第五卷第二号 一九五〇（昭和二五）年二月一日

表紙絵

詩 時計は壊れてゐる

社会小説と私小説

俳界／歌界

文学と基督教

文壇録音

風俗小説に就て

戦記小説

黒い山河——クラーク・フィールド脱出記

ガダルカナルの八十日間——転進まで

風——徐州をあとに

自殺兵——宜昌西岸地区にて

縦と横

創作月評 炉端の対話

父馬鹿

私の現在

編集後記

カット

八重垣逸郎／原勇／阿部一郎

第五卷第三号 一九五〇（昭和二五）年三月一日

表紙絵

随筆

八重垣逸郎

大池 唯雄 32・34

村上 忠孝 35

吉富 利道 41

清水 基吉 53

公家 裕 61

小田仁二郎 75

松本 宏一 89

宮崎泰二郎 97

吉井忠／八重垣逸郎 98

立川鴻三郎

川路 柳虹 (1)

岡 益夫 4

朝下 桂宇 14

13・64

4

13

18

18

64

13

山沢 種樹 19

掃部 均 24

池田 仁 35

野口 一郎 50

甲野 江二 65

有永 弘人 49

松本 宏一 78

前田河広一郎 88

前田河広一郎 88

宮崎 96

八重垣逸郎

八重垣逸郎

八重垣逸郎

八重垣逸郎

八重垣逸郎

八重垣逸郎

八重垣逸郎

八重垣逸郎

八重垣逸郎

八重垣逸郎

博物館

兼常 清佐

4

恋と工場とその歴史

沙和 宋一 1 5

日本まげ

桑原 武夫 4 5

随筆

学位

福原麟太郎 5 6

専門と余技

竹村 猛 26

詩界／俳界／美術界／ジャーナル／風俗

6・59・86

批判のない批判哲学

船山 信一 26 27

平林たい子の戦後作品

扇畑 忠雄 7 10

物売の声

小川 環樹 27

文壇録音 二十世紀の文学（その一）

十九世

ソ連印象記

桜井保之助 28 33

紀の残滓

山沢 種樹 11 15

今昔談

辰野 隆 34 44

特集 女流新人小説

マムシ（短篇）

大池 唯雄 45 57

雑草

石川 冬子 16 35

安積疎水瀆職事件——波紋

田村 樹 58 104

売り絵

大窪 梅 36 52

終記

宮崎泰二郎 104

大神さま

渡辺 冬子 53 59

本誌休刊の御挨拶

河北新報社 裏表紙裏

愛の影

亀山 恒子 60 86

創作月評 早春の雲

松本 宏一 87 96

編集室より

宮崎 35

カット

八重垣逸郎

第五卷第四・五号 一九五〇（昭和二五）年五月一日

表紙絵

八重垣逸郎

本号内容案内

東北文学編集部

執筆者索引

《あ》

- | | | | |
|-----------|--|-------|--|
| I・S | 4-10-61 | 飯田蛇笏 | 1-2-72 |
| 相原とく子 | 2-1-52, 2-5-88, 4-7-71 | 池田 仁 | 5-2-35 |
| 青地 進 | 4-4-5-20 | 石井昌光 | 4-3-15 |
| 青野季吉 | 1-2-8, 3-6-17, 4-7-2 | 石川達三 | 3-12-13 |
| 青柳瑞穂 | 3-9-27 | 石川冬子 | 3-9-13, 5-3-16 |
| 赤松俊子〔丸木俊〕 | 3-2-表紙 | 石川 湧 | 1-9-30, 1-10-28,
1-11-34, 1-12-27, 2-1-24,
2-2-3-38, 2-4-106, 2-5-83,
3-1-51, 4-9-41, 4-10-62 |
| 秋田雨雀 | 2-9-60, 2-10-58,
2-11-58, 2-12-20, 3-1-46,
3-2-59, 3-3-59, 3-4-59,
3-5-59, 3-6-58, 3-7-32,
3-8-50, 3-9-34, 3-10-45 | 石坂洋次郎 | 1-1-56, 1-6-7-41,
2-5-90, 3-12-6 |
| 秋山恵三 | 2-2-3-110, 2-5-89,
3-9-51, 4-7-71, 4-10-23,
4-11-12-80 | 石津照璽 | 1-10-2 |
| 朝下桂宇〔朝下忠〕 | 1-6-7-16,
2-10-46, 4-6-4, 5-2-14 | 石塚友二 | 1-5-56, 3-6-50 |
| 浅野 晃 | 4-9-67 | 石野みち | 1-5-46 |
| 東 京三 | 1-8-36 | 板垣直子 | 2-5-70 |
| 阿刀田令造 | 1-1-21 | 銀杏不咲 | 4-4-5-14 |
| 阿部一郎 | 5-2-カット | 一力五郎 | 1-9-24, 4-10-44 |
| 阿部合成 | 3-8-目次, 3-8-18 | 伊藤永之介 | 1-1-34, 1-6-7-53,
2-4-2, 2-5-91, 3-12-32, 4-1-2,
4-4-5-38, 4-7-65, 4-10-27 |
| 阿部松寿 | 3-3-カット | 伊藤緑郎 | 2-2-3-75, 4-2-15 |
| 阿部みどり女 | 1-5-53, 5-1-30 | 井上 勇 | 2-11-50 |
| 網野 菊 | 3-12-13 | 井上長雄 | 4-8-17 |
| 綾瀬しげる | 1-11-26 | 井上友一郎 | 3-12-6 |
| 荒 正人 | 4-4-5-2 | 井野川潔 | 4-8-22, 4-9-26 |
| 有永弘人 | 1-5-29, 3-12-25,
4-9-8, 4-10-32, 4-11-12-39,
5-1-11, 5-1-31, 5-2-49 | 井伏鱒二 | 3-1-34 |
| 安斎桜砲子 | 1-10-20 | 岩上順一 | 1-8-1, 2-9-53, 3-3-46,
3-5-2 |
| | | 岩倉政治 | 1-2-65, 1-10-59 |
| | | 岩崎 昶 | 3-7-4 |
| | | 上田 進 | 1-1-80, 1-6-7-60,
1-8-43, 2-7-32 |

上野菊江 1-8-表紙裏, 1-11-38,
2-5-92, 2-6-34, 3-3-52,
3-12-30
内田 巖 3-1-表紙, 3-1-カット,
3-2-カット
H · S 1-9-23
X 4-10-21
X · Y · Z (X Y Z)→山沢種樹
S · A 4-10-71
S · O 4-10-71
S · K 3-5-56
N 女 5-1-11
M 4-10-45
M · J · B 3-4-53, 3-5-48,
3-6-56, 3-7-30, 3-8-46,
3-9-32, 3-10-40, 3-11-28,
3-12-32
エリクソン, アレン 1-6·7-表紙裏
小穴隆一 1-2-カット,
1-3·4-表紙, 1-5-表紙,
1-5-カット, 1-9-カット,
1-10-カット, 3-3-表紙,
3-3-カット
扇畑忠雄 2-5-63, 4-6-22, 5-3-7
大池唯雄 (小池忠雄、こいけ・ただ
お) 1-2-39, 1-6·7-49,
1-12-42, 2-5-98, 2-8-32,
3-6-4, 4-6-42, 4-8-42, 4-9-40,
4-10-13, 5-1-33, 5-4·5-45
大岡昇平 4-10-10
大岡利吉 4-4·5-14
大木 実 2-8-31
大窪 梅〔若浜汐子〕 4-4·5-62,
4-10-7, 5-3-36
太田三郎 1-9-カット

大滝重直 2-5-93
大塚幸男 1-11-9
大淵忠之助 1-12-58, 4-4·5-79
大山 功 2-10-54, 3-7-43, 4-6-47
岡 益夫 1-11-1, 4-6-37, 5-2-4
岡崎義恵 1-5-8, 1-12-1, 2-8-59,
4-6-10, 5-1-4
岡田益吉 4-8-42
小川環樹 2-6-27, 4-6-56,
4-10-46, 5-4·5-27
沖塩徹也 2-2·3-42
尾崎士郎 2-12-53
小山内奈世 4-7-34
尾 切 介 4-10-12
小田仁二郎 5-1-75
小田嶽夫 3-12-58
小田切秀雄 2-11-39
落合 茂 2-4-35
小名木滋 2-9-36, 4-6-39
小野正人 1-2-65
小原 元 3-4-48
尾山篤二郎 1-1-18
恩地孝四郎 1-11-表紙

《か》

梶 大輔 1-10-27
カストリーヌ, レモネ 4-3-76
勝本清一郎 4-3-62
加藤千晴 2-2·3-48, 4-11·12-40
門岡桂子 2-1-123
兼常清佐 5-3-4
河北新報社 5-4·5-裏表紙裏
上泉秀信 1-5-57, 1-10-72,
2-5-95, 3-11-44

上司小剣 1-8-12
 亀山恒子 5-3-60
 掃部 均 5-2-24
 唐木順三 2-11-43
 刈田浩平 2-9-45
 川井昌平 4-6-50, 4-7-71, 4-8-42,
 5-1-11
 河上徹太郎 3-1-34
 川路柳虹 5-2-(1)
 川村公人 1-9-63, 2-5-29, 2-5-94,
 3-1-2, 3-2-2, 3-3-2, 3-7-48,
 3-12-34
 雁戸太郎 4-4-5-22
 菅野 康 2-9-表紙
 菅野吉雄 1-5-96, 2-1-123
 上林 暁 1-6-7-48
 上林君太 4-4-5-26
 菊沢季生 2-2-3-32
 菊田義孝 1-3-4-33
 北川冬彦 1-8-10, 4-6-60
 北住敏夫 2-12-14
 北村喜久雄 4-7-71
 木下常太郎 2-2-3-2, 3-12-14
 儀府成一 2-2-3-91, 2-5-96,
 4-7-19
 木村亀二 1-9-13, 5-1-9
 木村荘八 1-5-カット, 3-5-表紙
 木村信吉 1-9-34
 木村不二男 3-12-49
 京極三四夫 4-4-5-28
 公家 裕 2-5-97, 5-1-61
 草野心平 2-11-10
 草野正辰 1-10-23
 楠方吾郎 3-6-60
 楠美徹二 3-6-36

楠本憲吉 4-1-38
 工藤幸一 3-10-19, 4-7-71
 栗田桂子 3-5-55
 黒田辰男 1-5-1, 1-8-22
 桑原武夫 1-2-45, 1-5-18,
 2-2-3-17, 2-4-93, 5-3-4
 K 4-10-61
 K H K 3-2-48
 小池忠雄, こいけ・ただお→大池唯
 雄
 小池富美子〔野沢富美子〕 3-8-55
 小池吉昌 3-11-43
 小泉 貴 4-9-32
 耕 治人 2-10-26, 3-7-55, 4-6-59
 河内山歳男 4-4-5-14
 甲野江二 5-2-65
 向山一郎 4-4-5-59
 小林淳男 3-12-2
 小松 清 4-3-58
 五味保義 1-10-13
 小宮豊隆 1-2-16
 小山 清 2-9-2, 3-8-24, 3-11-2
 今日出海 3-10-2
 近藤いね子 4-9-19
 今野 望 4-3-25, 4-4-5-69

《さ》

斎藤キヌ 2-1-123
 斎藤正二 3-10-10
 榭谷 雄 2-8-61
 榭山 潤 1-1-69, 1-5-37,
 1-12-78, 2-6-47, 3-4-2,
 3-12-32, 4-3-48, 4-11-12-2
 坂本六良 3-10-11

崎山正毅 3-7-20
 桜井平喜 2-1-123, 4-7-71
 桜井保之助 5-4-5-28
 笹沢美明 1-6-7-24
 佐藤佐太郎 1-6-7-1, 2-12-13
 佐藤しづ子 2-1-123
 佐藤善一 1-5-76, 2-4-55, 2-5-99
 佐藤英哉 1-10-表紙裏
 佐藤民宝 1-5-60, 4-7-62
 寒川光太郎 2-10-10
 沙和宋一 2-4-16, 2-5-100,
 3-6-23, 3-12-48, 4-1-50,
 4-3-2, 4-4-5-40, 4-6-61,
 4-7-83, 4-8-85, 4-9-81,
 4-10-82, 5-4-5-1
 G 4-10-74
 シーモノフ, コンスタンチン 1-5-1
 六戸 章 2-12-表紙
 品川弥千江 3-10-15
 芝木好子 1-6-7-79, 3-3-37,
 3-12-32
 柴田治三郎 2-9-37
 渋谷晴雄 3-11-13, 4-3-23,
 4-9-32, 5-1-1
 志摩徳太郎 1-3-4-94
 清水基吉 2-6-1, 5-1-53
 下斗米康平 3-10-28
 庄司総一 2-5-101, 4-2-53, 4-10-4
 荘司ふく 2-11-表紙
 白鳥省吾 2-2-3-10, 3-5-10,
 4-9-31
 新海覚雄 2-5-表紙, 2-5-カット
 榛葉英治 4-2-2
 神保光太郎 1-1-30
 新明正道 1-9-17

杉村 惇 1-6-7-表紙,
 1-6-7-カット, 1-11-カット,
 3-6-表紙, 3-6-カット,
 3-7-表紙, 3-7-カット,
 3-8-表紙, 3-8-カット,
 3-9-表紙, 3-9-カット,
 3-10-表紙, 3-10-カット,
 3-11-表紙, 3-11-カット,
 3-12-表紙, 4-1-表紙
 杉森久英 4-1-28
 鈴木新火 2-9-57
 鈴木信太郎 1-3-4-カット
 鈴木彦次郎 1-5-48, 2-5-102
 須多 章 2-8-58, 2-9-58,
 2-10-44, 2-11-53
 須藤春樹 4-3-68
 関野準一郎 1-1-カット,
 1-6-7-カット, 4-4-5-カット,
 4-6-カット
 相馬黒光 1-5-55, 2-2-3-32
 曾宮一念 1-3-4-カット
 《た》
 高木武之介 1-12-22
 高橋幸一 1-12-31
 高橋新二 1-11-27
 高橋たか子 1-5-47, 2-1-22,
 2-5-103, 3-10-38, 4-6-31
 高橋利男 2-1-123
 高橋正雄 2-9-43
 高橋 易 1-3-4-94
 高村勝治 4-3-73, 4-9-2
 田川竹夫 2-2-3-41
 竹内てるよ 1-9-1

竹越和夫 1-9-46, 1-10-36,
 1-11-44, 4-8-18, 4-10-21
 竹村 猛 3-1-29, 4-6-1,
 5-1-11, 5-4-5-26
 竹森一男 4-8-71, 4-11-12-40
 太宰 治 1-11-49
 立川鴻三郎 5-1-表紙, 5-2-表紙
 辰野 隆 5-1-11, 5-4-5-34
 巽 聖歌 1-6-7-40
 伊達宗雄 1-12-20, 4-6-19
 田中 勉 2-7-47
 田中英光 2-7-1, 2-11-2, 3-8-3,
 3-9-39, 3-12-13
 玉城 徹 1-3-4-32
 田宮虎彦 4-10-2
 田村 樹 5-4-5-58
 千葉 明 2-6-表紙, 2-8-表紙
 千葉治平 3-10-51
 長 光太 1-9-6, 1-11-25, 3-6-11
 鳥海青児 1-9-カット,
 1-10-カット, 2-1-表紙,
 2-1-カット
 対馬 正 2-2-3-43
 壺井 栄 1-1-46, 2-5-2
 鶴田知也 1-10-48, 4-6-28
 T・N 4-10-71
 寺崎 浩 1-3-4-20, 3-12-13
 土居光知 1-2-2, 2-2-3-32, 2-5-64
 土井八枝 1-6-7-2
 戸石泰一 3-8-12
 東野辺薫 1-9-52, 2-5-104,
 3-5-36, 4-2-27
 東北作家協会事務局 4-3-96
 東北文学編輯室 1-2-64, 4-7-64,
 4-9-96

東北文学編輯部 (編輯部)
 1-3-4-表紙裏, 1-5-95,
 1-6-7-表紙裏, 1-8-9, 1-8-10,
 1-10-35, 2-1-19, 2-2-3-47,
 2-6-38, 2-11-38, 3-2-44,
 3-4-13, 3-5-64, 3-6-16,
 3-6-64, 3-7-3, 5-4-5-表紙裏
 十返 肇 2-5-114
 徳田一穂 4-3-50
 徳永 直 1-6-7-25, 3-2-45,
 3-12-7, 4-11-12-68
 富沢有為男 4-10-72

《な》

中川一政 1-1-表紙, 1-1-扉,
 1-1-カット, 1-2-表紙
 中島健蔵 3-10-42
 中島哲郎 4-2-表紙, 4-3-表紙,
 4-4-5-表紙, 4-6-表紙,
 4-7-表紙, 4-8-表紙
 長田秀雄 1-3-4-63, 1-8-53
 中塚富之助 3-10-33
 中野五郎 2-2-3-32
 永野為武 1-12-12
 中村善策 1-2-カット,
 1-3-4-カット, 1-6-7-カット,
 1-8-カット
 中村武羅夫 2-1-34, 2-2-3-64,
 2-4-117, 2-5-116, 2-6-39,
 2-7-39, 3-7-10
 中山義秀 1-11-18
 檜崎 勤 4-1-39, 4-3-83
 西村貞二 4-3-53
 丹羽文雄 3-1-34

ヌエツト、ノエル 4-9-41, 4-10-62
 根本雅夫 1-5-カット
 野口一郎 5-2-50
 野口弥太郎 2-7-表紙,
 2-7-カット, 2-8-カット
 野田宇太郎 4-1-31
 能淵 敏 4-4-5-23
 野間仁根 1-2-カット
 野間 宏 3-12-6
 野村千春 2-2-3-表紙,
 2-2-3-カット, 2-9-カット

《は》

狭間二郎 2-6-カット,
 2-12-カット, 3-4-カット,
 3-5-カット, 3-12-カット
 橋浦兵一 4-6-34
 橋本英吉 3-12-6
 長谷川春子 3-4-表紙
 服部 博 2-1-123, 2-9-64, 2-10-64
 浜田隼雄 4-2-37, 4-6-15, 4-7-71,
 4-11-12-14
 浜野正吾 4-3-69
 早船ちよ 4-11-12-49
 原 勇 4-3-カット,
 4-4-5-カット, 4-8-カット,
 4-9-表紙, 4-10-表紙,
 4-10-カット, 4-11-12-表紙,
 5-2-カット
 原奎一郎 2-12-26
 原 精一 1-12-表紙,
 1-12-カット, 2-10-表紙,
 2-11-カット, 3-12-目次,
 4-2-カット, 4-4-5-カット

原 誠 4-6-82, 4-9-32, 4-10-18
 久板栄二郎 1-1-(96), 1-8-50,
 3-3-22
 菱山修三 1-5-16, 3-8-49
 日比野士朗 1-1-(96), 1-2-45,
 1-2-74, 1-2-96, 1-3-4-51,
 1-3-4-96, 1-6-7-33, 1-8-46,
 2-1-94, 2-2-3-17, 2-5-105,
 2-8-46, 3-1-34, 3-5-12,
 3-7-14, 3-11-14, 4-8-42
 平井弥太郎 1-2-14, 1-12-21,
 2-5-106, 2-7-29
 平岡 昇 1-8-18
 平林たい子 3-12-6
 広 告 3-8-48
 深田久弥 2-10-2, 4-1-19
 福島一郎 4-4-5-17
 福田清人 1-8-68, 4-8-3
 福田豊四郎 1-8-カット
 福原麟太郎 5-3-5
 藤 未次 3-10-23
 藤沢桓夫 3-12-48
 藤田序一 4-4-5-70
 舟越理助 4-4-5-6
 舟橋聖一 1-2-45, 2-1-12, 3-1-34,
 4-8-18
 船山 馨 1-11-77, 3-12-32
 船山信一〔船山信一〕 1-1-7,
 1-2-21, 1-3-4-47, 1-9-2,
 2-12-2, 5-4-5-26
 編輯部→東北文学編集部
 北条 誠 3-12-13
 本郷清市郎 2-4-92

《ま》

前田河広一郎 5-2-88
 真壁 仁 3-9-25, 4-1-24,
 4-4・5-39, 4-6-45, 4-10-26
 真杉静枝 1-3・4-2, 2-1-71, 4-3-46
 増田四郎 2-1-28
 又井賢三 4-3-36
 松尾邦之助 5-1-10
 松瀧清作 4-4・5-20
 松田解子 3-4-14
 松原慶治 2-1-123
 松本宏一 4-10-34, 4-11・12-31,
 5-1-89, 5-2-78, 5-3-87
 丸山 薫 2-1-20, 2-2・3-17,
 2-6-47, 2-11-60, 3-6-2
 三上稚彦 4-4・5-32
 三倉四郎 3-4-30
 三島由紀夫 3-12-32
 三原良吉 2-1-123
 宮内寒弥 2-11-27, 4-9-55
 宮崎泰二郎 (宮崎) 1-2-96,
 1-3・4-96, 1-5-96,
 1-6・7-裏表紙裏,
 1-8-裏表紙裏, 1-9-96,
 1-10-96, 1-11-96, 1-12-96,
 2-1-123, 2-1-124, 2-2・3-128,
 2-4-128, 2-5-128, 2-6-48,
 2-7-48, 2-8-64, 2-9-64,
 2-10-64, 2-11-64, 2-12-64,
 3-1-64, 3-2-64, 3-3-64,
 3-4-64, 3-5-64, 3-6-64,
 3-7-64, 3-8-64, 3-9-64,
 3-10-64, 3-11-64, 3-12-64,
 4-2-64, 4-3-96, 4-4・5-96,

4-6-96, 4-7-96, 4-8-42,
 4-8-96, 4-9-96, 4-10-96,
 4-11・12-100, 5-1-11, 5-1-98,
 5-2-96, 5-3-35, 5-4・5-104
 宮崎芳三 2-2・3-56, 3-11-30,
 4-9-32
 武者小路実篤 1-1-2
 村上忠孝 4-6-7, 5-1-35
 村上辰雄 1-2-28, 1-2-96,
 1-3・4-96, 1-5-96,
 1-6・7-裏表紙裏,
 1-8-裏表紙裏, 2-1-123,
 2-1-124, 3-8-8
 村田 潔 2-1-2
 村田治夫 1-8-37
 室生犀星 1-2-68
 本橋錦一 4-8-31
 森荘已池 2-5-107, 4-6-53
 森三千代 1-8-86, 4-3-17
 森川盛男 4-4・5-11
 森田草平 1-10-30
 森山 啓 4-7-5

《や》

八重垣逸郎 4-3-カット,
 4-4・5-カット, 4-7-カット,
 4-9-カット, 4-11・12-カット,
 5-1-カット, 5-2-カット,
 5-3-表紙, 5-3-カット,
 5-4・5-表紙
 保原逸鶴 2-1-123
 矢野 朗 2-8-1, 4-1-26, 4-4・5-33
 山岸外史 1-3・4-75, 3-9-2
 山口誓子 1-9-16

山崎義彦	4-9-32	3-5-カット, 3-6-カット,
山沢種樹 (X・Y・Z, 和井幘)		3-8-カット, 3-9-カット,
1-1-25, 1-2-34, 1-3-4-89,		3-10-カット, 3-11-カット,
1-5-41, 1-6-7-55, 1-8-62,		3-12-カット, 4-1-カット,
1-9-41, 1-10-43, 1-11-39,		4-2-カット, 4-6-カット,
1-12-33, 1-12-37, 2-1-30,		5-1-カット
2-1-45, 2-2-3-46, 2-2-3-50,		吉岡 憲 2-7-カット, 2-8-カット
2-4-110, 2-5-108, 2-6-35,		吉富利道 5-1-41
2-7-30, 2-7-37, 2-8-44,		吉野源三郎 5-1-9
2-9-49, 2-10-61, 2-11-54,		吉邨 堯 1-6-7-78, 2-1-123,
2-12-9, 3-1-42, 3-2-54,		3-8-5, 4-6-25
3-3-54, 3-4-54, 3-5-50,		米川正夫 3-2-30
3-6-51, 3-7-25, 3-8-19, 3-9-8,		
3-10-6, 3-11-38, 3-12-20,		
4-1-34, 4-3-77, 4-4-5-53,		《ら》
4-6-75, 4-7-55, 4-8-66,		竜 2-10-44
4-9-49, 4-10-15, 4-10-75,		伶 4-10-74
4-11-12-44, 5-1-22, 5-2-19,		
5-3-11		《わ》
山田岩三郎 2-5-82, 4-10-72		
結城哀草果 1-1-17		和井 幘→山沢種樹
結城健三 1-2-73		渡辺康三 2-1-123
横沢三郎 4-6-13		渡辺正三郎 4-7-71
横田雄士 4-4-5-25		渡辺敏雄 1-6-7-5, 1-11-57,
吉井 勇 1-5-93, 2-10-45		2-12-44
吉井 忠 2-4-表紙, 2-4-カット,		渡辺花子 2-2-3-9, 3-4-52
2-10-カット, 2-11-カット,		渡辺冬子 5-3-53
2-12-カット, 3-1-カット,		巖山 順 3-2-49
3-2-カット, 3-3-カット,		